

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮</p>		<p>回</p> <p>16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 31：模擬試験 31 32：模擬試験 32 33：模擬試験 33 34：模擬試験 34 35：模擬試験 35 36：模擬試験 36 37：模擬試験 37 38：模擬試験 38 39：模擬試験 39 40：模擬試験 40 41：模擬試験 41 42：模擬試験 42 43：模擬試験 43 44：模擬試験 44 45：模擬試験 45		回 46：模擬試験 46 47：模擬試験 47 48：模擬試験 48 49：模擬試験 49 50：模擬試験 50 51：模擬試験 51 52：模擬試験 52 53：模擬試験 53 54：模擬試験 54 55：模擬試験 55 56：模擬試験 56 57：模擬試験 57 58：模擬試験 58 59：模擬試験 59 60：模擬試験 60		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	90	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 61：模擬試験 61 62：模擬試験 62 63：模擬試験 63 64：模擬試験 64 65：模擬試験 65 66：模擬試験 66 67：模擬試験 67 68：模擬試験 68 69：模擬試験 69 70：模擬試験 70 71：模擬試験 71 72：模擬試験 72 73：模擬試験 73 74：模擬試験 74 75：模擬試験 75	回 76：模擬試験 76 77：模擬試験 77 78：模擬試験 78 79：模擬試験 79 80：模擬試験 80 81：模擬試験 81 82：模擬試験 82 83：模擬試験 83 84：模擬試験 84 85：模擬試験 85 86：模擬試験 86 87：模擬試験 87 88：模擬試験 88 89：模擬試験 89 90：総まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	必須
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	15	単位	1	実務家	窓口業務経験者
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。</p> <p>立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。</p> <p>基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：職場のマナー</p> <p>02：仕事の進め方</p> <p>03：挨拶と敬語①</p> <p>04：挨拶と敬語②</p> <p>05：電話応対マナー</p> <p>06：電話を取り次げない場合 1（不在・外出）</p> <p>07：電話を取り次げない場合 2（休暇・出張）</p> <p>08：電話を取り次げない場合 3（電話中）</p> <p>09：電話を取り次げない場合 4（その他）</p> <p>10：電話を取り次げない場合 5（伝言・メモの書き方）</p> <p>11：電話の掛け方の基本</p> <p>12：電話の受け方応用（道案内等）</p> <p>13：電話応対のロールプレイ 1</p> <p>14：電話応対のロールプレイ 2</p> <p>15：電話応対のロールプレイ 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	テキストの内容確認をする。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p><b>【概要】</b> 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：整数① 02：整数② 03：整数③ 04：整数④ 05：整数習熟確認 06：割合と比① 07：割合と比② 08：割合と比③ 09：割合と比習熟確認 10：方程式・不等式① 11：方程式・不等式② 12：方程式・不等式③ 13：方程式・不等式習熟確認 14：速さ① 15：速さ②	回 16：速さ③ 17：速さ④ 18：速さ習熟確認 19：全範囲まとめ講義① 20：全範囲まとめ講義② 21：全範囲まとめ講義③ 22：全範囲まとめ講義④ 23：全範囲まとめ講義⑤ 24：全範囲まとめ講義⑥ 25：全範囲まとめ講義⑦ 26：全範囲まとめ講義⑧ 27：全範囲まとめ講義⑨ 28：全範囲まとめ講義⑩ 29：全範囲まとめ講義⑪ 30：全範囲まとめ講義⑫			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理 II	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p><b>【概要】</b> 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：図形の計量①</p> <p>02：図形の計量②</p> <p>03：図形の計量③</p> <p>04：図形の計量習熟確認</p> <p>05：数列</p> <p>06：計算パズル, 数理計画</p> <p>07：数列・計算パズル・数理計画習熟確認</p> <p>08：場合の数①</p> <p>09：場合の数②</p> <p>10：確率①</p> <p>11：確率②</p> <p>12：場合の数・確率習熟確認</p> <p>13：資料解釈①</p> <p>14：資料解釈②</p> <p>15：資料解釈③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p><b>【概要】</b> 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：論理③ 04：論理④ 05：論理⑤ 06：集合① 07：集合② 08：集合③ 09：集合④ 10：順序位置① 11：順序位置② 12：順序位置③ 13：順序位置④ 14：順序位置⑤ 15：順序位置⑥		回 16：対応① 17：対応② 18：対応③ 19：対応④ 20：対応⑤ 21：勝敗① 22：勝敗② 23：勝敗③ 24：勝敗④ 25：証言① 26：証言② 27：暗号 28：推理手順① 29：推理手順② 30：推理手順③		
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修数的処理IV	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p><b>【概要】</b> 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：軌跡①</p> <p>02：軌跡②</p> <p>03：軌跡③</p> <p>04：平面①</p> <p>05：平面②</p> <p>06：平面③</p> <p>07：平面④</p> <p>08：平面⑤</p> <p>09：平面⑥</p> <p>10：立体①</p> <p>11：立体②</p> <p>12：立体③</p> <p>13：立体④</p> <p>14：立体⑤</p> <p>15：立体⑥</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	総合数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 情報を整理し様々な視点から問題に取り組む思考習慣を養う</p> <p><b>【概要】</b> 数的推理・判断推理・空間把握・資料解釈の様々な解法を学習し、実践的推理力を身につける</p>				
到達目標	<p>数学的な立式と計算力を身につける</p> <p>情報を整理し系統的に捉える力を身につける</p> <p>素早く図表を読み取り把握する力を身につける</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理・集合</p> <p>02：数的推理実戦的解法講義①</p> <p>03：順序関係・位置方位</p> <p>04：数的推理実戦的解法講義②</p> <p>05：対応関係</p> <p>06：数的推理実戦的解法講義③</p> <p>07：勝敗・証言</p> <p>08：数的推理実戦的解法講義④</p> <p>09：暗号・推理手順</p> <p>10：数的推理実戦的解法講義⑤</p> <p>11：平面図形</p> <p>12：数的推理実戦的解法講義⑥</p> <p>13：立体図形</p> <p>14：数的推理実戦的解法講義⑦</p> <p>15：判断推理・空間把握総合</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。</p> <p><b>【概要】</b> 長文読解問題の解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>長文読解のための手法を身につける。 現代文の読解ができる。 論理的思考を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：要旨把握① 02：要旨把握② 03：要旨把握③ 04：要旨把握④ 05：要旨把握⑤ 06：要旨把握⑥ 07：内容合致① 08：内容合致② 09：内容合致③ 10：文章整序① 11：文章整序② 12：文章整序③ 13：空欄補充① 14：空欄補充② 15：空欄補充③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	憲法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における人権保障を理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 人権総論から信教の自由までを判例の理解を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権保障の考え方を理解する。</p> <p>人権関連判例を理解習得する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：憲法の意義、特性、尊重擁護義務</p> <p>02：前文、日本国憲法と大日本帝国憲法</p> <p>03：基本原理、外国人の人権</p> <p>04：法人の人権</p> <p>05：公共の福祉、公務員の人権</p> <p>06：在監者の人権</p> <p>07：人権の私人間効力</p> <p>08：プライバシー権、肖像権</p> <p>09：名誉権、自己決定権</p> <p>10：法の下での平等・序論、判例①</p> <p>11：法の下での平等、判例②</p> <p>12：思想・良心の自由</p> <p>13：信教の自由・序論、限界</p> <p>14：政教分離の意義、判例①</p> <p>15：政教分離、判例②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	憲法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における人権保障を理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 自由権、社会権を中心に各種判例の理解を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権保障の考え方を理解する。</p> <p>人権関連判例を理解習得する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：表現の自由・意義、制限①</p> <p>02：表現の自由・制限②、知る権利</p> <p>03：報道の自由、取材の自由</p> <p>04：表現の自由、事前抑制、集会の自由</p> <p>05：集団行動の自由、二重の基準論</p> <p>06：学問の自由</p> <p>07：職業選択の自由</p> <p>08：居住移転の自由、財産権・序論</p> <p>09：損失補償、適正手続の保障</p> <p>10：被疑者・被告人の権利</p> <p>11：拷問残虐刑の禁止、事後法の禁止、生存権①</p> <p>12：生存権②、教育を受ける権利</p> <p>13：勤労の権利、労働基本権</p> <p>14：参政権</p> <p>15：受益権</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	憲法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して憲法における統治の仕組みを理解する。</p> <p><b>【概要】</b> 憲法の基本原理から統治機構を理解できるように学習する。</p>				
到達目標	<p>統治機構の位置付けを理解する。</p> <p>三権分立の意義を理解する。</p> <p>法的思考に慣れ、論理的思考力を得る。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国会の地位、組織①</p> <p>02：国会の組織②</p> <p>03：国会議員の地位と権能</p> <p>04：国会の権能</p> <p>05：議院の権能</p> <p>06：議院内閣制、内閣の地位組織</p> <p>07：内閣の権能、内閣総理大臣の権能</p> <p>08：内閣の総辞職、衆議院の解散</p> <p>09：司法権の範囲と限界①</p> <p>10：司法権の範囲と限界②</p> <p>11：裁判所の組織、構成</p> <p>12：司法権の独立、違憲審査権</p> <p>13：財政</p> <p>14：地方自治</p> <p>15：憲法改正、天皇、平和主義</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	民法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、総則分野の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法総則のうち、制限行為能力者制度、法人、意思能力、時効を中心に条文規定や、判例ならびに学説について理解できる。</p> <p>2. 基礎内容を踏まえ事例形式の問題にも対応できる</p> <p>3. 民法総則の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：民法典の役割、制限行為能力者制度 1</p> <p>02：制限行為能力者制度 2</p> <p>03：制限行為能力者制度 3</p> <p>04：法人 1</p> <p>05：法人 2</p> <p>06：法律行為 1</p> <p>07：法律行為 2</p> <p>08：法律行為 3</p> <p>09：代理制度 1</p> <p>10：代理制度 2</p> <p>11：代理制度 3</p> <p>12：無効取消・条件期限</p> <p>13：時効制度 1</p> <p>14：時効制度 2</p> <p>15：時効制度 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、物権法分野の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 物権法のうち、物権総論、各物権規定に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>2. 基礎内容を踏まえ事例形式の問題にも対応できる</p> <p>3. 物権法の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：物権制度全般</p> <p>02：不動産物件変動 1</p> <p>03：不動産物権変動 2</p> <p>04：動産物権変動 1</p> <p>05：動産物権変動 2</p> <p>06：占有権 1</p> <p>07：占有権 2</p> <p>08：所有権</p> <p>09：用益物権</p> <p>10：担保物権総説</p> <p>11：留置権</p> <p>12：先取特権・質権</p> <p>13：抵当権 1</p> <p>14：抵当権 2</p> <p>15：抵当権 3</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	民法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、民法典（債権法・家族法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 主として民法典のうち、債権法・家族法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法（債権法）の債権総論及び各論を中心に、条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 債権法につき、法体系や条文知識、判例、学説などを理解する。</p> <p>3. 債権法、家族法の学習を通じて幅広い視点にたつて考える力を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：債権の目的①</p> <p>02：債権の目的②</p> <p>03：債務不履行①</p> <p>04：債務不履行②</p> <p>05：債務不履行③</p> <p>06：債務不履行④</p> <p>07：債権者代位権</p> <p>08：債権者取消権</p> <p>09：多数当事者の債権債務関係①</p> <p>10：多数当事者の債権債務関係②</p> <p>11：多数当事者の債権債務関係③</p> <p>12：債権譲渡①</p> <p>13：債権譲渡②</p> <p>14：債権の消滅①</p> <p>15：債権の消滅②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	民法Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して民法典（債権法・家族法）の理解度を向上させる</p> <p><b>【概要】</b> 民法全体にわたる条文規定・判例を学習する</p>				
到達目標	<p>1. 物権法、債権法に関する条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 債権法の問題に関する理解度を向上させる。</p> <p>3. 家族法の問題に関する理解度を向上させる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：契約総論①</p> <p>02：契約総論②</p> <p>03：契約各論①</p> <p>04：契約各論②</p> <p>05：契約各論③</p> <p>06：契約各論④</p> <p>07：契約各論⑤</p> <p>08：契約以外の債権発生原因①</p> <p>09：契約以外の債権発生原因②</p> <p>10：契約以外の債権発生原因③</p> <p>11：契約以外の債権発生原因④</p> <p>12：親族法①</p> <p>13：親族法②</p> <p>14：相続法①</p> <p>15：相続法②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	行政法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政作用法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政作用法のうち、行政行為、行政強制、行政罰、行政立法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政行為のうち、行政行為の分類、瑕疵、取消撤回、裁量、附款を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政強制、行政罰の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政契約、行政計画、行政立法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政法とは</p> <p>02：行政行為の分類①</p> <p>03：行政行為の分類②</p> <p>04：行政行為の効力</p> <p>05：行政行為の瑕疵</p> <p>06：行政行為の裁量</p> <p>07：行政行為の取消撤回</p> <p>08：行政行為の附款</p> <p>09：行政強制①</p> <p>10：行政強制②</p> <p>11：行政罰</p> <p>12：行政契約/行政計画</p> <p>13：行政立法①</p> <p>14：行政立法②</p> <p>15：行政立法③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	行政法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政作用法及び行政救済法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政手続法、情報公開法、行政不服審査法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政作用法のうち、行政手続法及び公物法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政作用法のうち、情報公開法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、行政不服審査法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政手続法（申請に対する処分）</p> <p>02：行政手続法（不利益処分）</p> <p>03：行政手続法（聴聞）</p> <p>04：行政手続法（行政指導/届出）</p> <p>05：行政手続法（命令等）</p> <p>06：情報公開法（開示手続）</p> <p>07：情報公開法（開示請求に対する措置）</p> <p>08：行政不服審査法（総則）</p> <p>09：行政不服審査法（審査請求）</p> <p>10：行政不服審査法（審理手続）</p> <p>11：行政不服審査法（裁決/決定）</p> <p>12：行政不服審査法（教示等）</p> <p>13：公物法</p> <p>14：法律による行政の原理</p> <p>15：行政上の法律関係</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	行政法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通じて、行政救済法及び行政組織法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p><b>【概要】</b> 行政事件訴訟法、国家賠償法、国家行政組織法、地方自治法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政救済法のうち、行政事件訴訟法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、国家賠償法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政組織法のうち、国家行政組織法及び地方自治法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政事件訴訟法（総則）</p> <p>02：行政事件訴訟法（取消訴訟）</p> <p>03：行政事件訴訟法（処分性）</p> <p>04：行政事件訴訟法（原告適格）</p> <p>05：行政事件訴訟法（審理等）</p> <p>06：行政事件訴訟法（その他の抗告訴訟）</p> <p>07：行政事件訴訟法（当事者訴訟等）</p> <p>08：国家賠償法（1条）</p> <p>09：国家賠償法（1条判例）</p> <p>10：国家賠償法（2条）</p> <p>11：損失補償</p> <p>12：国家行政組織法</p> <p>13：権限の委任と代理</p> <p>14：地方自治法（事務）</p> <p>15：地方自治法（住民訴訟）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	法律概論	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、憲法・民法・行政法のより実践的な知識の習得を目指す。</p> <p><b>【概要】</b> 憲法、民法、行政法の判例を中心とした学習を行う。</p>				
到達目標	<p>講義を通じて、人権・統治機構全体に関する判例知識を身につける。</p> <p>講義を通じて、民法総論、物権、債権、親族、相続の関連性を理解する。</p> <p>講義を通じて、行政法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：憲法 1 人権（総論、平等権）</p> <p>02：民法 1 総則</p> <p>03：行政法 1 行政行為</p> <p>04：憲法 2 人権（自由権①）</p> <p>05：民法 2 物権法①</p> <p>06：行政法 行政手続法、行政不服審査法</p> <p>07：憲法 3 人権（自由権②、社会権）</p> <p>08：民法 3 物権法②</p> <p>09：行政法 3 行政事件訴訟法</p> <p>10：憲法 4 統治機構（国会）</p> <p>11：民法 4 債権法</p> <p>12：行政法 4 国家賠償法</p> <p>13：憲法 5 統治機構（内閣、裁判所）</p> <p>14：民法 5 親族、相続法</p> <p>15：行政法 5 地方自治法</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	ミクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して不完全競争市場の特徴・リスクとゲーム理論・国際貿易を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてミクロ経済学のうち、不完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>独占企業の行動が理解できること</p> <p>ゲーム理論の基礎を理解すること</p> <p>パレート基準の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡</p> <p>02：余剰</p> <p>03：課税の影響（生産者に課税）</p> <p>04：課税の影響（消費者に課税）</p> <p>05：均衡の安定性と調整過程</p> <p>06：価格弾力性</p> <p>07：租税負担と価格弾力性、最適課税とラムゼールール</p> <p>08：効用関数と無差別曲線</p> <p>09：予算制約と効用最大化</p> <p>10：加重限界効用均等、コブ=ダグラス型効用関数</p> <p>11：所得変化の効果、価格変化の効果</p> <p>12：連関財、補償変分と等価変分</p> <p>13：特殊な無差別曲線</p> <p>14：労働供給、異時点間最適消費</p> <p>15：演習問題</p>	<p>回</p> <p>16：総費用曲線</p> <p>17：損益分岐点と操業停止点</p> <p>18：最適投入量</p> <p>19：独占市場</p> <p>20：複占企業（クールノー複占）</p> <p>21：共謀、ベルトラン複占</p> <p>22：パレート最適</p> <p>23：外部効果（外部性）、外部不経済</p> <p>24：公共財</p> <p>25：投票のパラドックス</p> <p>26：情報の非対称性</p> <p>27：展開型ゲーム</p> <p>28：比較生産費説（リカード・モデル）</p> <p>29：貿易政策</p> <p>30：演習問題</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	ミクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して市場メカニズム・家計の行動（消費論）・企業の行動（生産論）を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてミクロ経済学のうち、完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>市場メカニズムが理解できること 家計の効用最大化の計算問題の理解 企業の利潤最大化の計算問題の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：利潤最大化 02：長期の企業行動、生産関数 03：利潤関数と最適投入条件 04：ラーナーの独占度、差別独占 05：複占企業（シュタッケルベルク複占） 06：寡占市場 07：厚生経済学の基本定理 08：外部経済、コースの定理 09：自然独占 10：期待効用仮説 11：ナッシュ均衡、マキシミン戦略 12：混合戦略ナッシュ均衡 13：互いに貿易を行う条件 14：ヘクシャー＝オリーンの定理 15：演習問題</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	マクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員
授業回数	30	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して経済成長理論、AD-AS 分析、インフレ総供給曲線・インフレ総需要など、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてマクロ経済学のうち、労働市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>経済成長理論が理解できること AD-AS モデルが理解できること 財市場・貨幣市場・労働市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算 02：国際収支統計の理解 03：物価指数 04：45 度線分析 05：乗数効果 06：乗数モデル（政府部門を含むモデル） 07：IS 曲線 08：LM 曲線 09：利子弾力性 10：金融政策 11：財政政策 12：政策効果 13：ポリシーミックス 14：計算問題演習 15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：為替レートの理解 17：マンデルフレミングモデル 18：消費理論 19：投資理論 20：成長会計 21：新古典派成長理論 22：労働市場 23：UV 曲線 24：AD-AS モデル 25：フィリップス曲線 26：インフレ需要曲線 27：インフレ供給曲線 28：経済学派の整理 29：計算問題演習 30：総まとめ試験</p>			
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	マクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS-LM分析を学び、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてマクロ経済学のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>IS-LMモデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算と帰属計算</p> <p>02：国際収支統計の理解とISバランスアプローチ</p> <p>03：産業連関表</p> <p>04：45度線分析の計算問題</p> <p>05：インフレギャップとデフレギャップ</p> <p>06：乗数モデル（海外部門を含むモデル）</p> <p>07：IS曲線計算問題</p> <p>08：LM曲線計算問題</p> <p>09：所得弾力性</p> <p>10：貨幣乗数</p> <p>11：クラウディングアウト</p> <p>12：流動性のわな</p> <p>13：ポリシーミックス</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	経済学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 演習を通してマクロ・ミクロ経済学の基本知識の整理を図る。</p> <p><b>【概要】</b> 主としてマクロ経済学・ミクロ経済学のうち、基本的な計算問題を学習する。</p>				
到達目標	<p>財市場の均衡、貨幣市場の均衡を把握できること</p> <p>市場論・企業論の基礎理論がわかること</p> <p>公共財の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：45度線分析</p> <p>02：IS-LM分析</p> <p>03：AD-AS分析</p> <p>04：経済成長理論</p> <p>05：市場メカニズム</p> <p>06：消費者の効用最大化</p> <p>07：企業の利潤最大化</p> <p>08：独占・複占・寡占</p> <p>09：ゲーム理論</p> <p>10：パレート基準</p> <p>11：市場の失敗</p> <p>12：比較生産費説</p> <p>13：計算問題演習1</p> <p>14：計算問題演習2</p> <p>15：総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	会計学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、企業会計の役割を学び背景にある会計理論を学習する。</p> <p><b>【概要】</b> 企業会計の基礎、会計基準、会計理論を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記の基本を学び、財務諸表の役割を理解する。</p> <p>2. 企業取引における会計処理手続きを理解する。</p> <p>3. 企業会計原則を中心とする制度会計の役割を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：企業会計の基礎</p> <p>02：一般原則①</p> <p>03：一般原則②</p> <p>04：損益会計①</p> <p>05：損益会計②</p> <p>06：資産会計①</p> <p>07：資産会計②</p> <p>08：資産会計③</p> <p>09：負債会計</p> <p>10：純資産会計</p> <p>11：財務諸表</p> <p>12：財務諸表分析</p> <p>13：特殊会計①</p> <p>14：特殊会計②</p> <p>15：特殊会計③</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	政治学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して、政治システムの基礎原理を学ぶ。</p> <p><b>【概要】</b> 政治の基本原理を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代政治の基礎を理解する。 政治思想の基礎を理解する。 政治体制を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：政治学の基礎概念① 02：政治学の基礎概念② 03：政治学の基礎概念③ 04：政治学の基礎概念④ 05：現代社会と政治① 06：現代社会と政治② 07：政治過程論① 08：政治過程論① 09：政治過程論② 10：政治過程論③ 11：政治過程論④ 12：政治制度論① 13：政治制度論② 14：政治思想と政治理論 15：戦後政治政治史</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	行政学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 講義を通して行政学の理論、歴史的背景、実例を学び、行政学の基礎知識を習得する</p> <p><b>【概要】</b> 行政学の発展や現在の行政の在り方について学ぶ</p>				
到達目標	<p>行政理論の成立と日本の行政について説明できる</p> <p>組織理論と官僚制論について説明ができる</p> <p>政策決定までの流れやその責任について説明できる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政国家と福祉国家</p> <p>02：行政理論①</p> <p>03：行政理論②</p> <p>04：組織理論</p> <p>05：行政組織①</p> <p>06：行政組織②</p> <p>07：官僚制論</p> <p>08：公務員制度</p> <p>09：政策過程①</p> <p>10：政策過程②</p> <p>11：予算・決算制度</p> <p>12：行政責任・行政統制①</p> <p>13：行政責任・行政統制②</p> <p>14：地方自治①</p> <p>15：地方自治②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	国際関係	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> グローバル化が進む現代社会において、国際的な視点を持つことの重要性を認識し、国際社会の平和維持に貢献する意欲を育む。</p> <p><b>【概要】</b> 戦後の国際社会の構造を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 国際政治、国際経済、国際法、国際社会などの基礎概念や理論を理解する。</p> <p>2. 現代の国際社会における主要な課題や出来事について学ぶ。</p> <p>3. 国際関係の歴史的な変遷を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：戦後国際政治史①（東西冷戦の構造と第三世界）</p> <p>02：戦後国際政治史②（平和共存路線と多極化、デタント）</p> <p>03：戦後国際政治史③（冷戦の終結）</p> <p>04：戦後国際政治史④（核開発と軍縮）</p> <p>05：国際機関①（国際連盟と国際連合）</p> <p>06：国際機関②（国連安保理とPKO）</p> <p>07：国際機関③（その他の国連主要機関）</p> <p>08：地域機構①（欧州における経済統合の道と欧州連合）</p> <p>09：地域機構②（ASEAN等の世界各地の地域機構）</p> <p>10：国際経済①（ブレトンウッズ体制の誕生と崩壊）</p> <p>11：国際経済②（WTOおよび地域経済統合）</p> <p>12：国際社会問題（地球温暖化、人権問題）</p> <p>13：国際関係理論（現実主義と理想主義、構成主義等その他理論）</p> <p>14：国際紛争①（パレスチナ問題と中東の覇権争い）</p> <p>15：国際紛争②（旧ソ連構成国の紛争、アジア地域の紛争）</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	前回授業の要点整理をし、授業開始時の前回の復習問題に正答できること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	財政学	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 政府の経済活動とその機能を学習し、公務員として働くうえでの基礎理論を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 財政の機能、予算制度、租税、公債、財政政策を学習する</p>				
到達目標	<p>財政の三大機能・財政制度を理解すること</p> <p>国家予算の概要と近年の財政事情の把握</p> <p>財政政策の有効性について整理できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 財政の基礎 (財政の三大機能・財政学説史)</p> <p>02: 財政制度 (予算原則・予算の種類)</p> <p>03: 財政制度 (予算の内容・予算過程)</p> <p>04: 日本の財政事情</p> <p>05: 租税の基礎概念</p> <p>06: 財政投融资</p> <p>07: 負の所得税</p> <p>08: 公債の基礎概念</p> <p>09: 公債理論</p> <p>10: 日本財政の歴史</p> <p>11: 裁量的財政政策</p> <p>12: 地方財政</p> <p>13: 地方財政の分析指標</p> <p>14: 財政事情の国際比較</p> <p>15: 総まとめ試験</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	コミュニケーションスキル I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	通年	担当	本学園教員及び実務家担当者
授業回数	30	単位	1	実務家	窓口業務経験者
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 面接に必要な基本的な力を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> プレゼンやグループディスカッションを使って面接の基礎力を身につける。</p>				
到達目標	<p>面接力の向上。 自己分析ができる。 プレゼン力の向上</p>				
授業内容	回 01：プレゼンの重要性について 02：印象良く話すことについて 03：傾聴力について 04：敬語 05：小さな取り組み 06：プレゼンレベルアップ① 07：プレゼンレベルアップ② 08：小さな取り組み 09：笑顔 10：明るい声の練習 11：自己分析とは 12：自己PRのポイント 13：面接試験とは 14：身だしなみ 15：お辞儀	回 16：履歴書作成① 17：履歴書作成② 18：自己分析① 19：自己分析② 20：自己分析③ 21：履歴書完成 22：YG 検査 23：職場研究 24：集団面接 25：録画面接 26：集団面接 27：集団面接 28：入退室レクチャー 29：パッシュョネット面接① 30：パッシュョネット面接②			
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の内容	特になし				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	コミュニケーションスキルVI	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> ビジネス現場で通用する身だしなみ、社会問題意識、職業観、自己表現力を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 職業研究や官公庁の政策研究をし、それらを質疑応答の中で表現する</p>				
到達目標	<p>ビジネス現場で通用する身だしなみや立ち居振る舞いが身につく</p> <p>志望する官公庁の政策の知識がある</p> <p>社会問題に関する意見発表ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：個人面接①</p> <p>02：個人面接②</p> <p>03：個人面接③</p> <p>04：集団討論①</p> <p>05：個人面接④</p> <p>06：個人面接⑤</p> <p>07：集団討論②</p> <p>08：個人面接⑥</p> <p>09：個人面接⑦</p> <p>10：時事プレゼン準備①</p> <p>11：時事プレゼン準備②</p> <p>12：時事プレゼン準備③</p> <p>13：時事プレゼン準備④</p> <p>14：時事プレゼン発表①</p> <p>15：時事プレゼン発表②</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	興味のある職業のニュースや時事問題に普段から関心を持つ				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	総合学習Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 公務員試験に対応できる面接力・討論力を身につける</p> <p><b>【概要】</b> 模擬討論や様々な面接対策を実施する</p>				
到達目標	<p>建設的な討論ができる</p> <p>個人面接において自分をアピールできる</p> <p>集団面接において自分をアピールできる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：立ち居振る舞い</p> <p>02：集団面接①</p> <p>03：集団面接②</p> <p>04：集団面接③</p> <p>05：集団面接④</p> <p>06：集団討論①</p> <p>07：集団討論②</p> <p>08：集団討論③</p> <p>09：集団討論④</p> <p>10：ES作成</p> <p>11：個人面接①</p> <p>12：個人面接②</p> <p>13：個人面接フィードバック</p> <p>14：個人面接③</p> <p>15：個人面接④</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修文章表現能力 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	1	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 文章を通じた自己表現および論理的説明力を養う</p> <p><b>【概要】</b> 基本的な文章表現方法を学び、自己の経験および職業観を分析し、表現する</p>				
到達目標	<p>与えられたテーマに沿って自己の経験を文章表現できる</p> <p>自己の職業観について文章表現できる</p> <p>書いた文章をスピーチ用に編集し人前でスピーチできる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 文章表現ルール確認と自己の文章作成レベルチェック</p> <p>02: 添削ポイントと経験系課題まとめ表①作成</p> <p>03: 経験系課題まとめ表①を使った文章作成①</p> <p>04: 経験系課題まとめ表①を使った文章作成②</p> <p>05: 職業観課題まとめ表作成</p> <p>06: 職業観課題まとめ表作成を使った文章作成①</p> <p>07: 職業観課題まとめ表作成を使った文章作成②</p> <p>08: 経験系課題まとめ表②作成</p> <p>09: 経験系課題まとめ表②を使った文章作成</p> <p>10: スピーチのポイント</p> <p>11: クラススピーチ①</p> <p>12: クラススピーチ②</p> <p>13: 制限時間のある文章作成</p> <p>14: クラススピーチ③</p> <p>15: クラススピーチ④</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	講義内で作成するまとめ表の把握				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	速修文章表現能力Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 自己の経験および社会問題に関して客観的な考察と論理的説明力を養う</p> <p><b>【概要】</b> 様々な社会問題に関する知識を蓄え、論理的な文章を書く</p>				
到達目標	<p>現在の代表的な社会問題についての知識を身につける</p> <p>グラフや図表を読み取り、論理的な文章表現に変換できる</p> <p>与えられた課題に対して制限時間内に論理的に述べるができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：小論文の書き方</p> <p>02：社会問題研究①</p> <p>03：小論文作成①</p> <p>04：社会問題研究②</p> <p>05：小論文作成②</p> <p>06：社会問題研究③</p> <p>07：小論文作成③</p> <p>08：グラフや図表を読み取り方</p> <p>09：社会問題研究④</p> <p>10：小論文作成④</p> <p>11：社会問題研究⑤</p> <p>12：小論文作成⑤</p> <p>13：社会問題研究⑤</p> <p>14：小論文作成⑤</p> <p>15：制限時間のある小論文作成</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	ニュースや時事問題に普段から関心を持つ				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員上級総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識及び専門知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 公務員として必要な専門知識を身につける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮</p>		<p>回</p> <p>16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚</p>		
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員上級総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識及び専門知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 公務員として必要な専門知識を身につける。</p>				
授業内容	回 31：模擬試験 31 32：模擬試験 32 33：模擬試験 33 34：模擬試験 34 35：模擬試験 35 36：模擬試験 36 37：模擬試験 37 38：模擬試験 38 39：模擬試験 39 40：模擬試験 40 41：模擬試験 41 42：模擬試験 42 43：模擬試験 43 44：模擬試験 44 45：模擬試験 45	回 46：模擬試験 46 47：模擬試験 47 48：模擬試験 48 49：模擬試験 49 50：模擬試験 50 51：模擬試験 51 52：模擬試験 52 53：模擬試験 53 54：模擬試験 54 55：模擬試験 55 56：模擬試験 56 57：模擬試験 57 58：模擬試験 58 59：模擬試験 59 60：模擬試験 60			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員上級総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識及び専門知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 公務員として必要な専門知識を身につける。</p>				
授業内容	回 61：模擬試験 61 62：模擬試験 62 63：模擬試験 63 64：模擬試験 64 65：模擬試験 65 66：模擬試験 66 67：模擬試験 67 68：模擬試験 68 69：模擬試験 69 70：模擬試験 70 71：模擬試験 71 72：模擬試験 72 73：模擬試験 73 74：模擬試験 74 75：模擬試験 75	回 76：模擬試験 76 77：模擬試験 77 78：模擬試験 78 79：模擬試験 79 80：模擬試験 80 81：模擬試験 81 82：模擬試験 82 83：模擬試験 83 84：模擬試験 84 85：模擬試験 85 86：模擬試験 86 87：模擬試験 87 88：模擬試験 88 89：模擬試験 89 90：模擬試験 90			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	公務員上級総合演習 I	授業形態	演習	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	120	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識及び専門知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 公務員として必要な専門知識を身につける。</p>				
授業内容	回 91：模擬試験 91 92：模擬試験 92 93：模擬試験 93 94：模擬試験 94 95：模擬試験 95 96：模擬試験 96 97：模擬試験 97 98：模擬試験 98 99：模擬試験 99 100：模擬試験 100 101：模擬試験 101 102：模擬試験 102 103：模擬試験 103 104：模擬試験 104 105：模擬試験 105	回 106：模擬試験 106 107：模擬試験 107 108：模擬試験 108 109：模擬試験 109 110：模擬試験 110 111：模擬試験 111 112：模擬試験 112 113：模擬試験 113 114：模擬試験 114 115：模擬試験 115 116：模擬試験 116 117：模擬試験 117 118：模擬試験 118 119：模擬試験 119 120：総まとめ			
テキスト 参考文献	大原出版教材				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	会社会計 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 簿記会計の基礎を学び、中小企業レベルの記帳から決算の処理までを身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 総務経理部所属経験を活かし、会計の役割、目的、簿記の基礎を理解させる。</p>				
到達目標	<p>中小企業レベルの主要簿作成ができる</p> <p>中小企業レベルの決算処理と財務諸表作成ができる</p> <p>日本商工会議所簿記検定の3級を合格する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：簿記の目的</p> <p>02：簿記一巡</p> <p>03：試算表、商品売買</p> <p>04：仕入諸掛、受取商品券</p> <p>05：現金、手形</p> <p>06：手形決済</p> <p>07：クレジット売掛金</p> <p>08：差入保証金、収益・費用</p> <p>09：訂正仕訳、資本</p> <p>10：決算、精算表</p> <p>11：英米式決算方</p> <p>12：決算整理①</p> <p>13：決算整理②</p> <p>14：決算整理③</p> <p>15：決算整理④</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	会社会計Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	2	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 日商簿記3級の実践問題演習を通して、検定試験に合格する能力を身につける。</p> <p><b>【概要】</b> 日商簿記3級の実践問題演習及び解答解説を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 日商簿記3級レベルの仕訳及び勘定口座への記入ができる。</p> <p>2. 日商簿記3級レベルの試算表や財務諸表の作成ができる。</p> <p>3. 日商簿記検定3級合格レベルに到達する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：決算整理後試算表</p> <p>02：損益計算書、貸借対照表</p> <p>03：主要簿・補助簿</p> <p>04：問題演習①</p> <p>05：精算表演習①</p> <p>06：伝票、証票</p> <p>07：試験対策①</p> <p>08：試験対策②</p> <p>09：問題演習②</p> <p>10：試験対策③</p> <p>11：総まとめ①</p> <p>12：総まとめ②</p> <p>13：問題演習③</p> <p>14：問題演習④</p> <p>15：問題演習⑤</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	指定した範囲の予習を行うこと				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	PC 実習 I	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> Microsoft Word を使い、ビジネスの場で求められる基本的な文書を作成できる力を養う</p> <p><b>【概要】</b> Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を段階的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社内文書、社外文書の形式を覚え作成できる</p> <p>体裁よくレポートが作成できる</p> <p>表、画像、図形を使った文書が作成できる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : PC の設定</p> <p>02 : 文書の作成と管理</p> <p>03 : 入力操作の基礎と応用</p> <p>04 : 社内文書</p> <p>05 : 社外文書</p> <p>06 : シンプルなレポート</p> <p>07 : 見やすい報告書</p> <p>08 : チラシや申込みフォーム</p> <p>09 : 表や画像のある文書</p> <p>10 : 図形描画</p> <p>11 : SmartArt を使った文書</p> <p>12 : ビジネス文書作成の応用①</p> <p>13 : ビジネス文書作成の応用②</p> <p>14 : ビジネス文書作成の応用③</p> <p>15 : ビジネス文書作成の応用④</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	キーボードのタイピングに慣れる				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	PC 実習 II	授業形態	実習	区分	選択必修
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> Microsoft Excel を使い、ビジネスの場で求められる表計算、グラフ、データベースの知識および操作できる力を養う</p> <p><b>【概要】</b> Microsoft Excel の機能を段階的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的な関数を使い表計算ができる</p> <p>グラフを使った報告書作成ができる</p> <p>データベースの作成および操作ができる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : PC の設定</p> <p>02 : 表計算の基本操作</p> <p>03 : 表の編集操作</p> <p>04 : 関数を使った集計①</p> <p>05 : 関数を使った集計②</p> <p>06 : 関数を使った集計③</p> <p>07 : グラフ作成</p> <p>08 : グラフを使った報告書作成ができる</p> <p>09 : データベース機能の基本操作</p> <p>10 : データベースの利用法①</p> <p>11 : データベースの利用法②</p> <p>12 : ピボットテーブル①</p> <p>13 : ピボットテーブル②</p> <p>14 : マクロによる作業の自動化①</p> <p>15 : マクロによる作業の自動化②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容					

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	マーケティングⅢ	授業形態	講義	区分	必須
年次	2	時期	後期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> 現代企業におけるマーケティングの重要性と課題を理解し、将来、ビジネス社会で実践できることを目的とする。</p> <p><b>【概要】</b> 顧客満足を前提とした戦略を中心に、事例研究も交え、様々な分析手法を習得する。</p>				
到達目標	<p>1. 店舗調査に必要な情報を入手し、そこから問題点を導き出す。</p> <p>2. 実際の店舗データを基に様々な分析を行うことができる。</p> <p>3. 店舗調査を受け、売り上げ向上に必要な企画を考える。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：マーケティングの必要性</p> <p>02：事前分析</p> <p>03：課題抽出</p> <p>04：企画立案①</p> <p>05：企画立案②</p> <p>06：企画立案③</p> <p>07：企画書作成①</p> <p>08：企画書作成②</p> <p>09：企画書作成③</p> <p>10：企画書作成④</p> <p>11：スライド作成①</p> <p>12：スライド作成②</p> <p>13：ポスター作成</p> <p>14：プレゼン発表①</p> <p>15：プレゼン発表②</p>				
テキスト 参考文献	大原出版教材・プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	該当するテキストのページを復習しておくこと				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	職業実践 I	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> IT 関連の基礎知識を習得する</p> <p><b>【概要】</b> IT パスポート試験の過去問を使用し、基礎知識を学ぶ</p>				
到達目標	<p>システム及びソフトウェアの開発において、支援を行うための技術が理解できている。 情報機器及びシステムを把握するために必要な知識及び手法を理解できている。 企業活動や関連業務の知識を持ち、かつ企業戦略に関する知識及び手法を理解できている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01 : ガイダンス (試験詳細、学習の流れ)</p> <p>02 : システム開発技術①</p> <p>03 : 過去問演習①</p> <p>04 : システム開発技術②</p> <p>05 : 過去問演習②</p> <p>06 : ソフトウェア開発管理技術①</p> <p>07 : 過去問演習③</p> <p>08 : ソフトウェア開発管理技術②</p> <p>09 : 過去問演習④</p> <p>10 : ソフトウェア開発管理技術③</p> <p>11 : 過去問演習⑤</p> <p>12 : 企業活動①</p> <p>13 : 過去問演習⑥</p> <p>14 : 企業活動②</p> <p>15 : 認定試験</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				

## Syllabus

学科名 行政法律科 I					
授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
年次	2	時期	前期	担当	本学園教員
授業回数	15	単位	1	実務家	
授業目的 概要	<p><b>【目的】</b> IT 関連の基礎知識を習得する</p> <p><b>【概要】</b> IT パスポート試験の過去問を使用し、基礎知識を学ぶ</p>				
到達目標	<p>システム及びソフトウェアの開発において、支援を行うための技術が理解できている。 情報機器及びシステムを把握するために必要な知識及び手法を理解できている。 企業活動や関連業務の知識を持ち、かつ企業戦略に関する知識及び手法を理解できている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：法務①</p> <p>02：過去問演習⑧</p> <p>03：法務②</p> <p>04：過去問演習⑨</p> <p>05：基礎理論</p> <p>06：過去問演習⑩</p> <p>07：アルゴリズムとプログラミング①</p> <p>08：過去問演習⑪</p> <p>09：アルゴリズムとプログラミング②</p> <p>10：過去問演習⑫</p> <p>11：コンピュータ構成要素</p> <p>12：過去問演習⑬</p> <p>13：システム構成要素</p> <p>14：過去問演習⑭</p> <p>15：認定試験</p>				
テキスト 参考文献	プリント				
成績基準	授業態度・定期試験・小テスト等を総合的に加味して評価				
準備学習の 内容	特に無し				